

# マコガレイ

*Pleuronectes yokohamae*

地方名  
くろがしら（八戸、陸奥湾）、  
まがれい（陸奥湾、  
日本海）



## 生態

- ①寿命：約10年。
- ②成熟：2歳（体長オス15.4cm、メス13.0cm）以上。
- ③産卵期：12月～翌年4月。  
陸奥湾では12月～翌年1月。  
太平洋では1月～3月。  
日本海では3月～4月。
- ④産卵場：水深10～60mの砂泥域。
- ⑤分布：北海道南部以南から大分県付近、朝鮮半島南部東シナ海。
- ⑥生態：通常は水深100mより浅い砂泥域に生息。  
食性は珪藻類、橈脚類、貝類、アミ類、ゴカイ類、甲殻類。

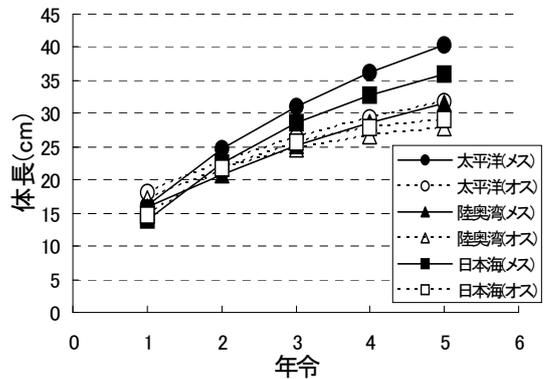


図 青森県におけるマコガレイの成長

## 主な漁業

底建網、さし網、底びき網で漁獲。主漁期は太平洋と陸奥湾では12月～翌年2月、日本海では1月～4月。2歳から漁獲される。

## 漁獲と資源の動向

※県全体の漁獲量の推移を右に示した。資源評価は地区別に次ページに示した。

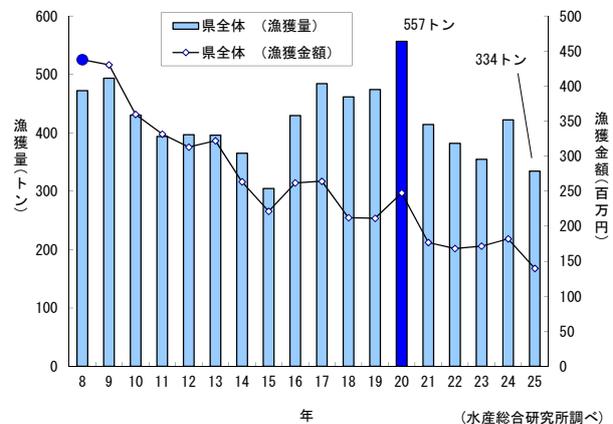


図 青森県におけるマコガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

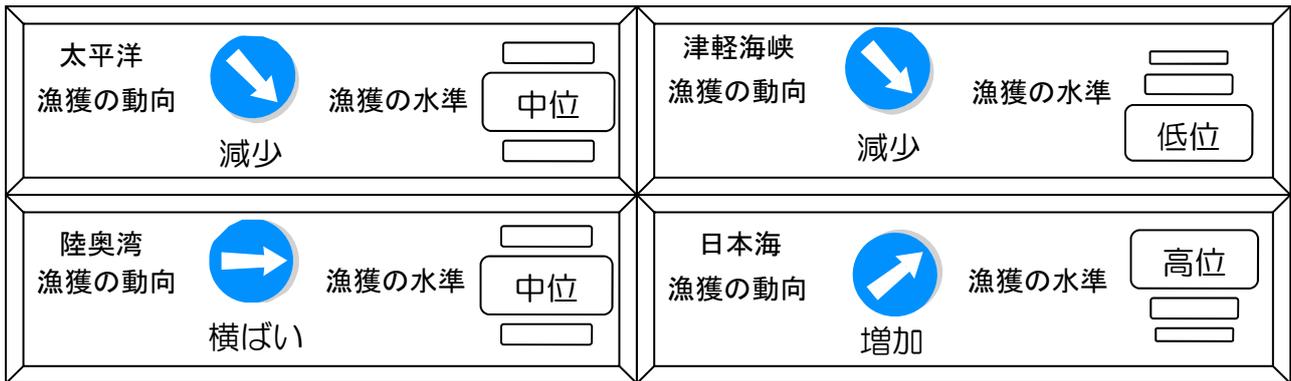
## 資源を上手に利用するために

- マコガレイ資源管理計画（平成13年3月）
  - ・全長20cm未満個体の再放流、かれいさし網の目合制限（3.5寸以上）を定めている。
- ☆上記の取り組みを継続することが必要である。

## トピックス

- ・本県に分布するマコガレイは、産卵期が太平洋、陸奥湾口、陸奥湾奥、日本海でそれぞれ異なり、遺伝的にも異なる（日本海区水産研究所）。
- ・野辺地町漁業協同組合では平成23年度から、車力漁業協同組合では平成24年度から、水産総合研究所への委託事業としてマコガレイの種苗放流事業を行っている。

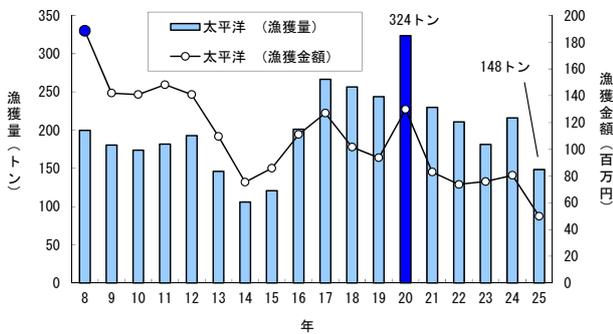
## 漁獲と資源の動向



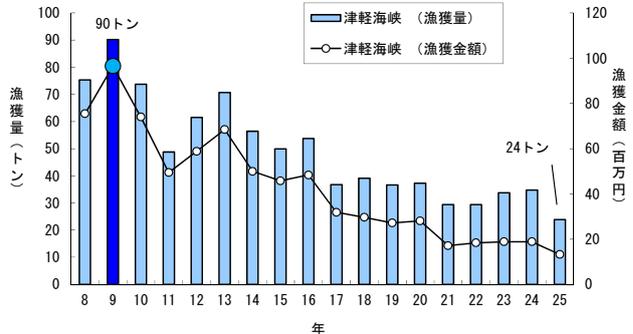
## 海域別漁獲量及び漁獲金額

太平洋では平成21年から減少傾向で推移し平成25年に148トン、津軽海峡では平成9年の90トンを経験して徐々に減少し平成21年以降は横ばい傾向であったが平成25年は減少し24トン、陸奥湾では平成21年に減少した後は横ばい傾向で平成25年は103トン、日本海では平成5年の75トンを最高に増減を繰り返しながら徐々に減少したが、平成15年の28トンを底に増加に転じ平成25年には59トンであった。

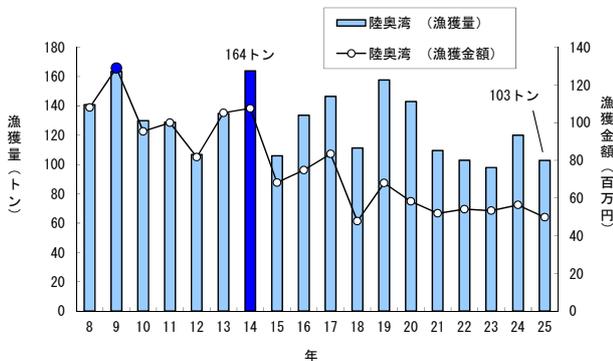
太平洋



津軽海峡



陸奥湾



日本海

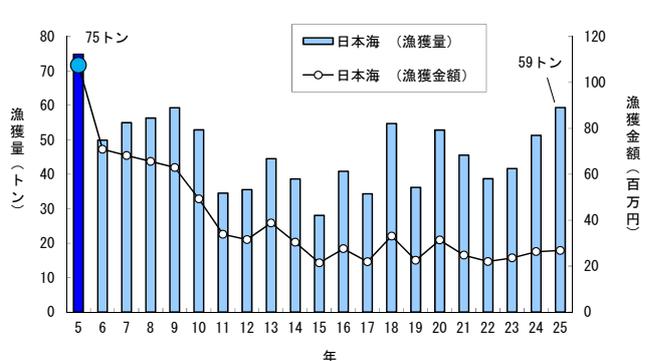


図 青森県におけるマコガレイの海域別漁獲量及び漁獲金額の推移 (水産総合研究所調べ)